

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者、管理士1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員を配置しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	玄関は段差がありますが、移動可能なスロープを配置しており、支障のない環境となっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	支援前後にチェックリストを用いて清掃をおこなっております。活動内容に合わせて指導室のレイアウトを変更しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個室はありませんが、必要に応じてパーティションを使用しています。また、席次を工夫しております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	日頃からミーティングやリフレクション会議にて情報共有や話し合いをおこない、現状把握と改善点の討議をしております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様に向けてアンケートを毎年実施し、ご意見やご意向の把握をおこない、業務改善につなげております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々ミーティングをおこない、情報共有をおこなっています。また、月に一度リフレクション会議をおこない、振り返りをおこなっております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間予定を立て、事業所内の職員研修を定期的に行っております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		契約時やモニタリング時に、アセスメントをおこない、児童と保護者のニーズや課題を確認しながら、適切な計画を作成しております。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日々の療育の記録を基に支援計画を作成し、職員全員で意見を出し合っております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画作成の都度見直しをおこない、計画に沿って支援をおこなえるよう努めております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		全事業所統一で標準化されたアセスメントシートを使用しております。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		保護者様のご意向を伺いながら、アセスメントの項目に沿って具体的な支援内容を設定しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		児童の現状や特性、保護者のニーズ等を加味しながら、有資格者それぞれの立場から意見を出し合い、活動プログラムの立案をおこなっております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員間で話し合い、季節ごとのイベントや、その年の時事を取り入れた活動をおこなっております。また、週末や長期休暇等は専門職員（理学療法士・作業療法士）の指導の下、運動療育も取り入れております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童一人ひとりの特性や、状況、活動時間に応じて個別活動と集団活動を組み合わせております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援開始前、一日のスケジュールや支援内容等を話し合っております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	当日の送迎後、もしくは翌日の支援前の時間を活用し、支援の振り返りや情報共有をおこなっております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援内容や児童の様子を正確に記録することを徹底しており、次回の療育担当者への申し送りや、職員間で情報共有をおこないながら、支援の改善に努めております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを実施し、児童の現状や保護者様のニーズを把握、分析し、計画を作成しております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8		児童の状況や、特性、保護者様のご意向を考慮しながら、ガイドラインの示す活動を組み合わせる支援をおこなっております。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8		成長に合わせて選択できるよう、工夫をおこなっております。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が参加しております。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	関係機関等の連携は、適宜おこなえるようにしております。		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校からは行事予定表や電話連絡やFAXを頂戴するなど情報共有を受けております。送迎時の変更やトラブル等の連絡は随時管理者を中心に適切におこなっております。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	対象児童がおらず今年度はおこなっておりません。	必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、情報共有や相互理解を図ってまいります。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	必要に応じて事業所での児童の様子や支援内容等について情報提供できるようにしております。		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を記載し、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6	児童発達支援センターなどの専門機関と連携し、助言をいただいたり、担当者会議等を通して情報共有をおこなっておりしております。	担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加し、情報共有をおこなっております。今後も定期的な研修を受け、よりよい支援をおこなってまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	現在、交流の機会を設けることはできておりません。	児童の現状や保護者様のご意向等を踏まえて、交流の機会を検討してまいります。	
	33 （自立支援）協議会等積極的に参加しているか。		8	職員個人の状況に合わせて参加するようにしております。	現状、積極的に参加はできておりませんが、情報収集をおこない、参加の機会を増やしてまいります。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	HUGや送迎時に、今日の様子や療育内容をお伝えし、保護者様へ児童のお家での様子等もつかうようにしております。また、必要に応じて電話連絡や、家庭訪問もおこなうようにしております。		
	35 家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	6	2	ペアレント・トレーニング等の支援はおこなっていませんが、家庭連携を通して保護者様からのご悩みや、ご相談を受け止め、児童の様子を踏まえて適切な助言等ができるよう、努めております。		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に運営規程、利用者負担等について書面を用いて丁寧に説明をおこなっております。また、質問や疑問点があれば、随時対応するようにしております。		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		状況に応じて、面談時に電話やHUGにて伝えていただく、多様な方法で確認する機会を設けております。		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		面談、ご自宅へ訪問し、同意を得ております。		
	39 家族等からの子育てのご悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡帳や送迎時のやりとり、電話連絡等で、保護者様からのご相談に応じ、適切な助言・支援ができるように努めております。		
	40 父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	現在、保護者会等の機会を設けることはできておりません。	保護者様のご意向を踏まえて、交流の機会を検討してまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情窓口を決め、苦情をいただいた際には担当者、責任者を中心に全職員でいただいた内容について精査し、迅速かつ適切に対応できるよう努めております。		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	季刊のCOMPASSだよりや事業所ごとに発行している事業所だより、ブログ等を通して情報を発信しております。		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		ご家庭の意向をおうかがいし、支援をおこなっております。		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	現在、事業所行事に地域住民を招待する企画はおこなっていません。	児童の現状や保護者様のご意向等を踏まえて開催を検討してまいります。	
	非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、職員や保護者様がいつでも確認できるように事業所に提示をしております。	
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		地震・風水害・火災の避難訓練と不審者対応の訓練を年に1回ずつおこなっております。	
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時や支援計画更新時のアセスメントにて確認をおこなっております。	
		49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	契約時に、アレルギーについて確認をおこなっております。	
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	年間計画を作成し、設備点検等実施しております。	
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7	1	契約時と年度初めに緊急連絡先を確認し、ペアリングしております。（99カード）また、事業所だよりやHUGにて避難訓練を実施した時にはお知らせをしております。		
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。		8		発生時には報告書を作成し、職員で情報共有をおこない、再発防止に努めております。		
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		8		事業所内の社員研修を実施し、虐待防止への意識向上に努めております。		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		8		原則として身体拘束はおこないません。生命又は身体を保護のためにやむを得ず身体拘束が必要となる場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の同意を得たうえで、個別支援計画書に記載して対応しております。		